



## BP3 ファシリテーター実践記 岡山県総社市

# 5回連続、母親のみの講座だからこそ得られるもの

NPO法人きよね夢てらす「子育て応援っこ」保育士 難波 美香

### BPの副題が素敵だなと思って

私は保育士として保育園に勤務した後、岡山県総社市の地域子育て支援拠点に勤めています。私たちの団体は、妊娠中の方から主に0歳～3歳のお子さんと保護者の方が気軽に来て交流してもらえる場の提供や相談、講習会の開催、子育て情報を得てもらえるような場所です。他にも、中学校や高校で赤ちゃんに触れ合う「赤ちゃん登校日」や幅広い世代の親育ちを応援するための参加型プログラム「親育ち応援学習プログラム」、「子育てハッピーアドバイス」等の活動も行っています。

職場の代表に薦められ、BP3プログラムの新発表がWEB開催であると知り参加しました。原田先生の話を知って、“思春期から花ひらく乳幼児期の子育て”という副題が素敵だなと感じました。子育て支援を行っている際に、子育てや兄弟が生まれてからの悩みや葛藤等相談を受けることがあります。BPでは、日々子育ての現状も変化するなかで正しい知識を伝えることができること、現在悩まれている方や交流の促進にもつながる支援が行えること、親子の絆が深まることに関心を持ちました。また、構造化されたプログラムであり、養成講座があるので、自分自身も学び伝えていきたい、挑戦していきたいと思い取り組みました。

### 開催に向けて会場探しや日程調整

BP3の講座が総社市では初開催でした。まず、どのような講座をするのかスタッフや関係者に説明し、BP3を知ってもらうことから始めました。次に会場探しです。私たちの団体は岡山県立大学内で子育て広場を実施しています。そこでNPも開催していたので、BP3も出来たら…と考えていました。岡山県立大学が事業の一環としてご協力くださり、何度か日程調整を行い、1回だけ1週間開きましたが実施することができました。会場だけではなく、子ども学科の学生に託児ボランティアをお願いでき、早い段階で学生数名から申し込みがありました。託児室や会場スペースが十分あり、必要なものほとんど揃っていました。託児をする「チュッピーひろば」からも同じ建物内ではあるけれど、こどもたち

の声も聞こえない、何かあればすぐに駆け付けることが出来る程よい距離でした。駅も近く駐車場もあり、大変実施がしやすい環境でした。会場も託児者も見つかり一安心しました。



### チラシや実施時使用物の準備

講座実施前にはファシリテーター (Fa) 同士で準備や講座内容の打ち合わせ、分かりやすいチラシの作成をしました。工夫した点は、講座の流れやポイントなどを各回にまとめた進行表や環境設定用のチェックシートの作成です。また視覚的にも分かりやすいように、質問内容など記入した用紙を準備し、裏面にマグネットシートを貼りつけておきました。参加者に時間を多く使ってもらうことが出来て良かったです。お互いに意見を出し合い、それでも分からないときや疑問に感じたことはすぐにピアサポーターに相談しました。「何かわからないことがあればいつでも尋ねてください」と毎回言ってくださり、本当に心強かったです。広場に来られた方に声掛けや説明をしていき、「託児があるから参加してみたい」「このテーマに興味があります」「ママ友が欲しい」など13名の方が申し込みしてくださいました。

### いよいよプログラムスタート

初回は会場の準備に早めに入り、再度流れの確認、託児室の準備、安全に実施するためにできる環境整備等を意識しました。開始前には「こどもと2時間も離れることが初めてなので心配です」と言われる方もおられました。「託児の方がしっかり預かってくださっているのでも大丈夫ですよ。お迎えの時に待っていてくれてありがとう、と伝えてみてくださいね」と伝えました。緊張される方やお子さんを心配される方など勇気を出して講座に参加された方がいると実感しました。Faとして“適切な進行”と“黒子に

徹する”ことはもちろんですが、親への絶対的信頼をもち、安全で、安心できるあたたかい場をつくること、参加して良かったと思ってもらえるような講座を実施したいと改めて思いました。

最初のペア決めでは、あまり顔見知りでない方どうしてFaが中心となりペアをつくり、お互いのことを聞き合って紹介していききました。「その他」のところで笑いが出たり、自然と拍手が起こったりしながら場が和んでいきました。その後も約束事を決めたりしながら、参加された皆さんによってあたたかい場が作られていくのだと実感しました。また、プログラムの回を重ねていくにつれて構造化されたプログラムの素晴らしさを実感しました。

### うれしい参加者の変化

実施して一番嬉しかったことは、参加者が回数を重ねていくうちに仲良くなり、笑顔が溢れ、自分自身のことを安心して話されていたことです。講座を実施して、友達をつくるきっかけになったり、こどもと少し離れて自分だけの時間が持てたり、私だけではないと共感できたり、気持ちが楽になったりなどピアレビューできる仲間づくりにつながったと感じました。他にも「今日はみんなにこの話をしたくてきました！」と毎週楽しみに参加してくださる方も居られ、5回連続、母親のみの講座だからこそ得られるものがあると感じました。DVDやテキストで知識を深めることで心が軽くなり、子育てや夫婦関係、自分自身の人生について考えるきっかけになり、人と人とのつながりが大切であることを実感できました。

講座の最初と最後に行われる「一人一言」では、皆さんの思いが溢れていて、ずっと聞いていたいという思いがありました。しかし、限られた時間の中で講座を進めていかないといけない、というFaとしての役割もあり葛藤しながら、ピアサポーターにアドバイスをいただき、時間配分を意識して講座を進めていきました。最終回まで時間調節は上手く出来なかったのもまた次回の課題です。

### 意識が変わった・子育てが楽しくなった

そして、2月末から4月上旬まで3か月に渡った講座最終日には、桜の木の下で親子が笑顔で過ごす姿をみてとても温かい気持ちになりました。終了後のアンケートでは「こどもと一緒に過ごす時間を大切にできるようになった」「完璧を目指さなくてもいいんだと思えて心が軽くなった」「バランスを大

切にしよう」「自分を振り返る機会をもてたことで、声掛けや気持ちが穏やかになれました」などの感想がありました。講座終了後もゆるやかな交流が続け、広場にも遊びに来てくれていることが嬉しいです。「参加して意識が変わりました！」「子育てが楽しくなりました」と話される方もいて、無事実施出来て本当に良かったです。これからも助け合いながら、心の安定根を育み、心身ともに健康で、イキイキとした人生を送れるように、「思春期から花ひらく乳幼児期の子育て」を応援していきたいです。

### 託児で実感したこと

広場に遊びに来られている方の参加が多かった為、ほとんどの方が託児を利用されました。広場スタッフに託児責任者を任せ、保育士を目指す学生・子育て経験者・保育士仲間など集まってきて、託児実施ができました。普段広場を実施している場所なので、玩具や託児グッズの準備がほとんど不要であったことも有難かったです。最終日には、保育票にメッセージを記入してくださった方も居られました。環境を整え、安心して、安全にこどもを預けられるきめ細かい配慮の中、「こどもたちが可愛かった」「楽しかった！」と言って託児して下さり、託児者の皆さんに感謝しています。安心してお任せすることが出来たので、私たちFaは講座に専念することが出来ました。原田先生が“プログラムと一時保育は車の両輪です”と言われていたことを実感しました。



### 仲間がいてこそ実施できた

最後になりましたが、今回一緒に講座を行ったFaは私の短大の同級生でもあり、職場の仲間です。なんでも遠慮なく言い合うことができ、お互いに支え合い一緒に学び実践することが出来たのも彼女の存在が大きかったです。そして、サポートは任せて！と応援してくれる仲間の存在がとても心強かったです。また、養成講座に参加した際にはBP1を実施されている方も多く、とても楽しく深い学びが出来ました。沢山の方にご協力していただけたからこそ講座の実施が出来たことに心から感謝いたします。